

寄せ植えやボーダーガーデンにも楽しめる。

< 植物名 >

サルビア

ガラニチカ (メド・セ・ジ)

水やり

土が乾燥し過ぎないように水やりを行う。

置き場所

日当たりが良い場所を好む。

用土肥料

花が咲いている期間が長いので、月に1回ほど追肥する。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 鉢植え、寄せ植え、花壇

学名 Salvia guaranitica

英名 anise-scented sage

属名 アキギリ

科名 シソ

性状(分類) 多年草、常緑亜低木

原産地 南アメリカ

花の色 濃青

開花期 夏～秋

購入時期

草丈 30～80 cm

ID 689

季節 夏 秋

JFコード 40831



冬越しと置き場所

日当たりが良い場所を好むので、建物の南側やよく日の当たる平地で育てる。どんな土質でも良く育つので、初心者にもおすすめ。ボーダーガーデンにも楽しめる品種。

その他の解説

春から花を咲かせるための生育期に入るので、肥料を施す。花が咲いている期間が長いので、月に1回ほど追肥する。

特徴1

濃青色で、他のセージよりも少し大きめの花が幾つか集まって、すっと伸びた茎の上部を彩っている。育てやすいが、土が乾燥し過ぎないように水やりを行う。

特徴2

サルビアは種類が非常に多く、約750種もあるといわれている。ハーブでよく使われるセージも仲間の一つで薬用サルビアとも呼ばれ、茎や葉に独特の香りを持つものもある。ガラニチカは濃青色で、他のセージよりも少し大きめの花が幾つか集まって、すっと伸びた茎の上部を彩っている。